

「英語」 正答例

第 I 問

問 1	直接的な説明による対人関係的な理解その伝達は
	音声記録やビデオ記録を補完するのであり、
	それらを無視(度外視)することは合理的ではない。

問 2	訳：「身体的な変数」 「身体の変数」
	説明：生理学的指標など身体面に現れる変化を反映する諸変数のこと

問 3	ふたりの人間の間に見える理解や直接の語りを通して伝達されたものが、
	予想可能な未来のどの時点においても、その価値を失うことは難しいであろうし、
	むしろ不可能であろう。

## 第Ⅱ問

問1	訳：質的研究志向の混合研究法
	効用の説明：質的研究により、研究対象(プロセス)に関与する多様な次元、
	多様なリアリティを掘り下げて新たな発見を導くことが期待され、
	その成果を量的研究を活用して仮説の検証範囲を広げたり 一般化を目指すことができるという効用がある。

問2 (1)	死後の意識：心理療法家の見解とクライアントとの作業に及ぼす影響について

問2 (2)	心理療法家の(死後の意識に対する)見解は、
	クライアントとの作業の様相とどのように関連しているか？
	(その見解から作業の様相をどれくらい予想できるか？)

問2 (3)	目的は、心理療法家の幅広い標本集団から年齢や経験、死後の生命の
	信念の回答を得て、本研究のテーマにふさわしい
	「スピリチュアル」な臨床家の下位集団を抽出すること。

問2 (4)	臨床経験10年以上、年齢50才以上で死後の生命に肯定的な信念を持っている
	心理療法家であること。心理臨床面接の十分な経験を持ち、
	クライアントとの作業の実例をもとに回答でき、人生の後半に入り、
	死や死後に向けての考えをもっている可能性が高い、すなわち、 本研究の設問に回答しやすい状況にあると考えられるため。

問3	訳：解釈的現象学的分析	
	選択肢	二

問4	協力者の経験にかかわらず、死という主題は治療的環境で取り上げられることは
	まれであった。すべての心理療法家が自分の目標は
	(その治療的環境として)クライアントが奥底にもっている関心について
	話題にできる(持ち込める)場所を提供することである、と述べてさえいるのに、
	まれであったのだ。